

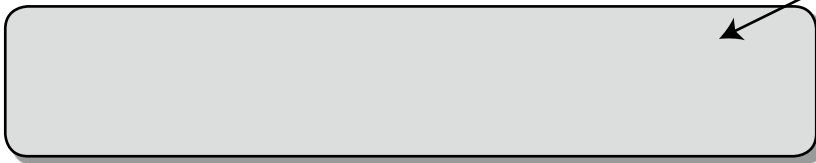
基本計画

基本計画の構成と見方

当基本計画では、個別の基本施策（節レベル）ごとに、施策の達成状況を確認する「まちづくり指標」や「施策の展開」などを示しています。各項目の内容については次の通りです。

第〇章 ○○○○○○のまちづくり

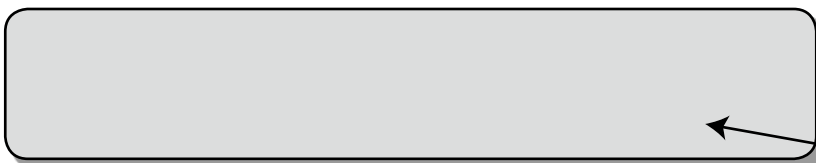
■将来展望



将来展望

政策分野としての将来展望（めざすべき地域社会の方向）を示しています。基本構想「Ⅲ．施策の目標」と同一の内容です。

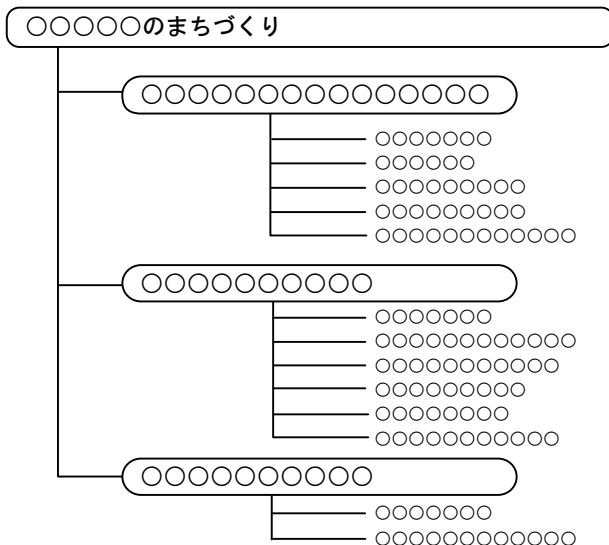
■基本施策の展開戦略



基本施策の展開戦略

政策分野として基本施策の展開方針を示しています。また、戦略として、政策分野が基本計画期間内に優先的に取り組む基本施策や施策を意思表示しています。

■施策体系図



施策体系図

政策分野における施策の体系を示しています。

まちづくり指標について

まちづくり指標は、市民とともにめざすまちづくりの方向性を示すもので、市民と行政がいっしょになってつくりあげていく、将来の城陽市のまちの姿を表しています。

具体的には、当基本計画の基本施策（節）ごとに、市民にとって重要な指標をまちづくり指標として設定し、その数値を測定して施策の達成状況とともに、市民からの政策ニーズを把握します。

1. まちづくり指標の役割

① まちづくりの進捗状況の確認

まちづくり指標を定期的に測定し、目標や他の自治体の状況などと比較することにより、まちづくりの進捗状況を把握して、指標の軌道修正を行います。

② 政策立案の支援

まちづくりの進捗状況を確認することにより、その都度、基本施策ごとに城陽市の課題を明らかにします。市は把握された課題を踏まえて、今後の政策の立案を行います。

③ 市民参加の促進

まちづくり指標を公表することにより、市民はまちづくりの進捗状況を具体的な数値で確認し、まちづくりの進捗状況を評価できます。また、まちづくり指標の目標実現に向け、市民は自分たちの役割や自身ができることを認識し行動することにより、市民参加や協働のまちづくりを促進します。

2. まちづくり指標の特徴

① まちづくり指標は、最終的に「めざすべき目標」を明らかにするとともに、その目標への段階的な取り組みとして、「5年後」の目標を示しています。

② 「めざすべき目標」は、将来めざす理想的な姿を想定して設定していますが、分母となる将来の対象数値が特定しにくいものなど、理想値が算定困難なものについては、「↑」や「↓」で示しています。

③ まちづくり指標は、全ての施策を網羅的に測定できるものではなく、特に重要な施策に対して目標値を設定しています。

④ まちづくり指標は、施策の進捗状況や社会的背景、市民からの政策ニーズなどを的確にとらえ、今後においても適宜見直しを行い柔軟に対応していきます。